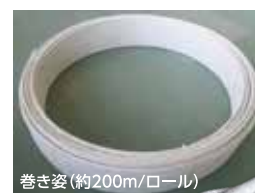




軽い・強い・錆びない等、炭素繊維の高い性能を生かした小松精練のオリジナル製品、熱可塑性炭素繊維複合材料カボコーマ(CABKOMA)ストランドロッド。

2015年11月、次世代の耐震補強材として当社・旧本社棟「ファーボ」は世界的建築家・隈研吾氏の設計で話題となりました。この度善光寺・経蔵保存修理事業の耐震補強工法で世界で初めてとなる耐震ブレースとして採用されるなど業界の注目を集めております。



巻き姿(約200m/ロール)



NH2437(C/#N90 ホワイト)




ストランドロッド

炭素繊維の芯を合成繊維の細紐覆った束を緩やかな撚りを加えて曲げ強度を向上させ建築施工に適した特性を持っております。

■特徴

- 軽量(比重は鉄の1/4) ○引張に強い ○錆びない ○着色加工可能(耐久性向上) ○端部定着が容易に可能
- 硬化後も熱変形可能 ○耐久性に優れる(耐塩水性、耐酸性、耐アルカリ性) ○耐衝撃性に優れる ○自己消火性 ○結露しにくい

■仕様

	品番	直径 (mm)	有効断面積 (mm ²)	単位重量 (g/m)	破断荷重 (kN)	破断強度 (MPa)	弾性係数 (GPa)
	NH2417	7.0	30.0	53	35	1,160	72
	NH2427	8.5	43.7	68	59	1,350	75
	NH2437	9.3	52.8	88	80	1,510	85
	NH24177	21.0	210.0	370	250	1,200	75

※上記データは代表値であり、保証値ではありません。

■用途

- 建築物の耐震補強材
- ワイヤー用途



善光寺 経蔵 水平ブレース

熱可塑性炭素繊維複合材料CABKOMA KBチップ(カボチップ)は、
熱可塑の特徴を利用した射出成形加工で、容易に射出成形する事が可能です。

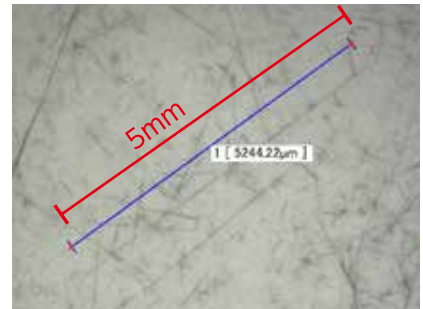


高い
汎用性

#KB-A11

■特長

カボコーマKBチップは、樹脂含浸型の複合材料チップです。
射出成形時の材料供給機構の安定化により、
スクリュー内での滞留時間をコンパクト化する事に成功しました。
このため、射出成形時のスクリューによる繊維の切断が少なく、
繊維長を保つことができました。
さらに、繊維含有量を最大限に高める事ができました。
CFなしの一般成形樹脂材料と比較して曲げ強度は2倍以上です。



繊維長観察

■射出成形用素材の物性比較

原料	カボコーマ KBチップ KB-A11	PC	6ナイロン	66ナイロン	PP
素材名	熱可塑性CFRP	ポリカーボネート	6ナイロン	66ナイロン	ポリプロピレン
強化繊維含有率 (wt%)	45	—	—	—	—
強化繊維含有率 (Vf%)	35	—	—	—	—
引張強さ (N/mm ²)	150	62	85	80	32
曲げ強さ (N/mm ²)	260	96	120	115	50
水分吸収率 25°C24hr (%)	0.04	0.1~1	1%以上	1%以上	0.1%以下

※上記データは代表値であり、保証値ではありません。